2022年度活動概要　　国際英語と異文化理解研究会

「国際英語と異文化理解研究会」は、ほぼ毎月のようにZoomを使って研究会を開催し、以下の様な2種類の研究活動を行いました。

第1の研究活動は、科学研究費基盤研究（C）「母語話者英語を単一規範としない国際汎用性重視の英語新評価の有効性に関する実証研究」（平成30年度～令和2年度（コロナの影響で令和4年度まで延長））をめぐって行われました。この科学研究費助成研究に関して各人が研究分担に沿った研究を進める他、それぞれが国際英語と異文化理解に関する個人研究も実施しました。

第 2 の研究活動は、国際英語論と英語教育に関する研究書の出版を昨年度の計画し、その準備を継続したことです。これは 2016 年に本研究会メンバーで出版した『「国際英語論」で変わる日本の英語教育』の実践編と位置付け、国際英語と英語教育を結び、実践的な内容にまとめることを視野に毎月メンバー全員が発表を重ねています。これまでに「国際英語論再考」、**「日本の英語教育と国際英語論」、「国際英語論への批判への対応」、**「国際英語論とリスニングの関係」、「国際英語論とライティングの関係」、「国際英語論とリーディングの関係」、「国際英語論とスピーキングの関係」、**「評価の理論と実践と国際英語論」、「AI/自動翻訳と英語教育・国際英語論との関係」などのテーマで各自研究発表を行いました。今後はこれまでの研究発表を原稿化する予定です。加えて「言語政策と国際英語論の関係」、「国際英語論と文化・意味の関係」などのテーマで研究発表を行い、出来るだけ早い時期に原稿執筆に取り掛かりたいと考えています。**

今年度も上述したような様々な研究活動を行い、本研究会のテーマに関する研究を一層深めることが出来ました。来年度も継続して研究テーマを追求していきたいと考えています。加えて、上述の出版を目指して積極的な研究活動を行いたいと考えています。